

## 令和4年度第1回堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし文活」 議事要旨

開催日時 令和4年 4月25日(月) 午後1時30分～午後2時45分  
開催場所 東区役所 1階 107会議室  
出席構成員 池崎守、小西貢、城岡キヌ子、辻有理、西野巳佐夫、林聡子、正木幸彦、  
渡士晶子  
事務局職員 東区役所企画総務課 中部企画係長、大野、酒井  
議題 東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承  
配付資料 ・(資料1) 令和4年度第1回テーマ別会議「ひがし文活」座席表  
・(資料2) 堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし文活」の取組について  
・(資料3) 令和3年度第2回堺市東区政策会議(書面開催)での意見

### 【会議内容概要】

- 1 事務局より、初めに資料2をもとに駅での子ども絵画展示事業について提案説明し、本件について意見交換を実施した。  
その後、資料2「2. 文化の取組推進に向けて」(裏面)について、事務局案(4案)に対する意見交換を実施した。このほか、資料3を紹介し各自、確認していただいた。

### 2 意見交換

#### 【各発言要旨】

- 事業の大枠は事務局提案の内容でよいと思うので、政策会議の場で報告してもらえればと考える。また、区役所から学校にも紹介してもらえればよい。
- 駅以外での展示をどうするか検討する必要がある。各地域で展示できる場所があるか確認しないといけないと思う。
- 各地域でも展示できれば良いと思う。
- 居住地区外で展示するのはどうかや、屋外であれば雨ざらしを避けることも考えないといけない。商店街もアーケードがあれば検討できるが適所がないので難しい。
- 駅以外での展示はぜひともしたいと思う。区役所や市の施設はどうか。
- 作品をパウチ処理などして街中に飾ってあげたいと思う。
- 5月開催予定の区政策会議までに、各校区で候補場所を検討してはどうか。
- 以前、地域会館の外にラミネート加工して展示したことがある。
- ラミネート加工する場合は、返却希望者には事前に了承を取り付ける必要がある。
- 制作者に了解いただくことを前提に、設置方法を考えたうえで場所については東区が「絵画があふれるまち」であればと思うので、制作者の地域にこだわらず展示可能な場所に、点々でなくラインで展示できればと思う。
- 各自、地域に戻って展示可能な場所を検討してはいかかがか。
- 先ほども発言があったが、5月の区政策会議の場で候補場所を示したらどうか。
- 駅前ロータリーに掲示板を新設できたら展示できると思うが、実現性が難点だ。

- 点々で展示すると前を通行する人には気づかれにくいのでライン（一団）で展示する必要がある。
- 展示作品にいたずら書きなどされるのが心配だ。
- それについては、子どもたちの絵にいたずらする人はいないと思うし、もしあってもそれはそれとして受けとめてもいいのではないかな。
- この事業では、作品の返却はしないということも考えられる。特に、街中屋外での展示となるので、返却するとなるといたずら対策も含め管理もしっかりしないとけなくなる上に、堺市としても道義的な責務もあると思うので、今回は返却しないということでしょうか。
- それでも返却してほしいという児童があれば、それはそれで対応してはどうか。
- 参加賞については、鉛筆が良いと思う。
- 「参加賞目当ての応募」も考えられると思うのだけれど、たとえどのような思いからであっても子どもたちが作品を作ることへの評価として、鉛筆一本でも参加賞として渡すべきと考える。
- 鉛筆なら日常使えるので、鉛筆二本というのはいかが。
- 学校には、ポスターを掲示してこの事業を子どもたちに紹介していただき、そのうえで多かったか少なかったか、応募数を検証して次に活かせばよいと思う。
- 事務局の提案で進めてもらって、駅以外の展示場所については各地域で検討してもらって次の会議のときに決めてはどうか。
- （事）資料2の裏面には、今後の事業展開に向けた事業・取組名や理念・スローガンをかかげるために事務局案を示したが、いかがか。
- 今後の事業展開に向けた事業・取組名や理念・スローガンについて、個人的には、カタカナを使用していない「文化あふれるまち 東区」が良いと思う。
- 絵画事業を第1弾ですが、演奏とか陶芸などとコラボしていき、身近に文化にふれられる展開をしていきたい。
- 「文化あふれるまち 東区 ～文化で結ぶ まち・ひと・こころ～」はどうか。
- 文化は経済を活性化するだけでなく、街そのものを活性化し、豊かにするのでタイトルとしてふさわしいと思う。
- このスローガンを実現していきたいと思う。広がりがある事業だと思う。絵画からスタートするが、その後を続けていけばよいと思う。例えば、音楽で元気をもらえることがある。心に大きな好影響を与えることもある。絵画をきっかけにジャンルを広げていけばよいと思う。
- 書道家の金澤翔子氏と書のイベント、またアーティスト（絵画）の石村嘉成氏と子どもたちとの絵画イベントなど、インパクトのある事業をしたいと思っている。文化のすそ野を広げていって、「誰一人取り残さない」まちを東区から発信していければと思う。

### 3 閉会